

	いただいた御意見	事務局対応
1	<u>OP. 46～ 数値目標について</u> ・利用状況をコロナ前に戻すのは困難。2026 の目標値は、2019 と 2020 の現況値をみて、どこまで回復させるかという視点で考えた方がいい。	・各数値目標の「目標値（2026）」については、2019 と 2020 の中間値を目標とすることを基本といたします。
2	<u>OP. 52～ プロジェクトについて</u> ・国から利便増進計画（地域公共交通計画とは別に策定が必要）の認定を受けることで、補助金の獲得や上乗せなど財源の確保が期待できるため、本計画内に「利便増進計画の策定を視野に入れる」旨記載しておいた方がいい（近隣では長井市が県計画に紐づく形で採択を受けているが、本市の場合は県計画か市計画かどちらかに紐づいていけばよいはず。）。	・公共交通ネットワークの再編のみならず、ダイヤ・運賃等のサービス面の改善も含め、地域のニーズにきめ細かく対応することは、持続可能なサービスを提供する上で重要と考えております。 ・計画案では重点事業として「市街地循環路線の再編・見直し」「均一運賃制度の導入」「乗用タクシーの活用」等、利用者の利便の増進に資する取組を推進していこうとしており、地域公共交通活性化法に基づく「地域公共交通利便増進実施計画」策定のメリットを受けられることも期待できることから、同計画の策定も視野に入れながら着実な推進を図る旨記載いたします。